

札幌医科大学 教職員の皆様へ

附属総合情報センター長

【重要】学術情報ネットワークシステム（SAINS）の更新について

令和6年度下期から7年度上期（予定）にかけて、教育・研究及び事務業務の情報通信基盤として運用中の学術情報ネットワークシステム（SAINS）を更新します。

今回の更新では、時間や空間に制約されない多様で柔軟な働き方にも対応できるようクラウドサービスを導入し、教職員及び学生が利用出来るコミュニケーションツールやDX推進に寄与するサービスが充実します。

更新に関する詳細は準備が整い次第、順次提供を行いますが、各所属において今後導入を検討しているシステムやソフトウェアへの適応や、クラウドサービスの利活用及びデータ移行等に関するご相談や、事前検討調査等へも随時対応いたしますので、必要な際は下記までご連絡ください。

1. 更新のポイント

○情報セキュリティ機能を一層強化するため、世界的なクラウドサービス（MS365）を導入し、併せてユーザビリティの向上とDX推進に向けた環境整備を図る。

■クラウドメールサービス（MS365）へ移行

■クラウドストレージ「box」の導入 など

2. スケジュール

○ 令和6年度にクラウド移行準備を開始、令和7年9月までに機器入替及びメール・データ移行

3. クラウド化するシステム

クラウドサービスの導入により、情報セキュリティ強化と学外での安全なシステム利用を提供

■メールシステム（sapmed メール）

各項目	現行（学内構築）	更新後（MS365）
学外での送受信	送信不可、受信は可	送受信可（クラウド接続）
ファイル添付	メール/Proselfによる送信	メール/boxのリンク送信
メール保存容量	1 GB	10GB

■データ保存・共有システム

データ保存区分	現行（学内構築=Proself）	更新後（box）
教員・講座（教育・研究関連）	割当なし	無制限
事務局	500GB（所属毎）	無制限
学外との情報共有	不可	可

※ Proselfは廃止し、容量無制限のクラウドストレージサービス（データ保存場所）を導入します。各所属が所管するデータの移行も可能となりますので、NASやその他外部ストレージからの移行について、ご検討及びご相談をお願いします。

4. グループウェア「Group Session」の廃止とクラウドサービス群の活用

- ・ Group Sessionは廃止し、各機能はMS365等へ移行
- ・ Teams等コミュニケーションツールが法人全体（教職員・学生）で利用可能

5. 連絡先 総務課 情報推進室 総務・システム係 icccj@sapmed.ac.jp